もっと分かる能楽講座 徹底解剖！ 能

KAMIASOBI Workshop TOHGAN-KOJI TAKASAGO

▼昼の部
能管 三流派の調べ『東岸居士』

▼夕方の部
ワークショップ五番能シリーズ『高砂』

神遊
第18回公演

【東岸居士】春の清水寺で東岸居士（シテ）が、旅人（ワキ）に乞われるままに歌い、舞いながら勧進する。様々な曲を舞う芸尽くしの曲である。

【高砂】のどかな春の高砂の海で、老翁（前シテ）と老婆（前ツレ）が、高砂・住の江の相生の松のいわれを語り、住の江では住吉明神（後シテ）が御世を祝って舞を舞う。

photograph : Akira Iwata

◎おかげさまで毎回ご好評を頂いている神遊能楽ワークショップ、昼の部では、今回は初の試みで、三流派の笛「能管」をテーマにとりあげます。「シテ方の流儀の違いはなんとなく分かるけど、囃子方の流儀ってどうちがうの？」という疑問にお答えします。現存する三流派の笛方で、流儀の特色や音色、指使い、唱歌の違いをお楽しみ下さい。

◎能の曲はテーマにより、〈脇能（初番目物・神）、修羅物（二番目物・男）、鬘物（三番目物・女）、狂女物（四番目物・狂）、切能（五番目物・鬼）〉の5種類に大別されます。夕方の部では、五番能シリーズワークショップの初番目として、婚礼などの祝言曲としても有名な、「高砂」を、脇能の理解を深める解説とともにご覧いただきます。脇能の代表ともいえる世阿弥の名作です。

◆昼の部……午後1時開演（午後12時半開場）

～能管三流派の調べ～

◎ワークショップの部
解説「東岸居士」について
「能管　三流派の調べ」
出演　藤田六郎兵衛（藤田流）
松田弘之（森田流）
一噌隆之（一噌流）

◎能『東岸居士』を観る

能 **東岸居士**
シテ 観世 喜正
ワキ 殿田 謙吉
間 高澤 祐介
大鼓 柿原 弘和
小鼓 宮増新一郎
太鼓 観世 元伯
笛 一噌 隆之
後見 長沼 範夫　弘田 裕一
地謡 坂 真太郎　佐久間二郎　遠藤 喜久　野村 昌司　野村 四郎　藤波 重彦

◆夕方の部……午後4時半開演（午後4時開場予定）

～五番能シリーズワークショップ・初番目物【脇能】～『高砂』

◎ワークショップの部
「脇能について」
1 ストーリー解説
2 脇能の囃子
3 装束の着付

◎能『高砂』を観る

能 **高砂**
ツレ 遠藤 喜久
シテ 観世 喜正
ワキ 殿田 謙吉
ワキツレ 大日方 寛
ワキツレ 御厨 誠吾
間 三宅 右矩
大鼓 柿原 弘和
小鼓 宮増新一郎
太鼓 観世 元伯
笛 一噌 隆之
後見 長沼 範夫　弘田 裕一
地謡 小林 正樹　坂 真太郎　佐久間二郎　野村 昌司　野村 四郎　藤波 重彦

（神遊メンバー手づくりのテキスト小冊子をお配りいたします。どうぞてぶらでお越しください）

藤田六郎兵衛

松田弘之

一噌隆之

柿原弘和

観世元伯

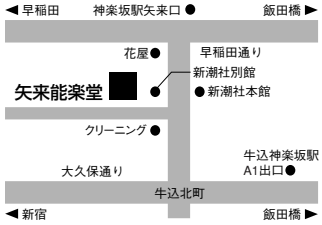
観世喜正

宮増新一郎

平成14年3月23日（土）神楽坂・矢来能楽堂 東京都新宿区矢来町60 Tel.03-3268-7311

正面指定席 4500円　脇正面自由席 3500円

お申込お問合せ： ◎神遊 03-5227-1830（Tel & Fax）　mail@kamiasobi.com
◎チケットぴあ 03-5237-9988　@ぴあ http://www.pia.co.jp（Pコード 318163）



地下鉄東西線神楽坂駅下車 矢来口より徒歩2分
都営大江戸線牛込神楽坂駅下車 A1出口より徒歩5分
*駐車場はございませんので、近隣のコイン駐車場をご利用下さい

—次回ワークショップ予告—
第21回公演 もっとわかる能楽講座 徹底解剖！ 能
平成14年12月14日(土)　矢来能楽堂

◆昼の部：～小鼓 四流派の調べ～ 能『鵺白頭』
出演 大倉源次郎（大倉流）幸信吾（幸流）幸正昭（幸清流）宮増新一郎（観世流）
◆夕方の部：～五番能シリーズワークショップ 二番目物【修羅物】～ 能『清経替之型』